

2010年9月 ITU-R SG1会合報告書

【会合名称】 ITU-R SG1 会合
(周波数管理に関する研究委員会)

【会期】 2010年9月27日

【開催場所】 スイス・ジュネーブ ITU 本部

【概要】

本会合は、今研究期間における第3回会合である。27ヶ国の主管庁と8の認められた通信、放送、科学技術、工業団体、地域及び国際機関並びに事務局より計62名が参加した。日本からの参加者は、高橋、杉山(総務省)、五十嵐(外務省)、小坂(NICT)、小川(電波産業会)、森(ワシントンコア)の6名である。

WP1A、1B及び1Cからの寄書及び他グループからのリエゾン文書等を含め計48件の文書が入力され、新勧告案2件、改定勧告案4件が採択された。このうちの3件(WP1Aから入力されたもの)は通常の方法での承認手続に諮られることとした。一方、WP1Cから入力されたものは同WPの会合がSG会合直前に開催されていたことから、SG1にて採択を審議するために必要な会合開催前4週間という期限を過ぎた提出となっていたため、コレスポンスでの採択、その後、主管庁のサーキュレーションを行って承認するというプロセスが想定されていたが、シリアからの提案でPSAA (Procedure for the simultaneous adoption and approval by correspondence) が採択されることになった。PSAAを採用することで採択と承認のプロセスが2段階ではなく同時に進められるため、意思決定を迅速化することができる。本会合におけるその他の主な審議結果は以下の通り。

- ・ ITU-R決議1-5によるEditorialな勧告の修正を求める文書2件が採択された(修正が採択された勧告の数にすると12件)。
- ・ 新研究レポート4件、研究レポートの改定6件が採択された。
- ・ 新及び改訂研究課題に関する入力文書は3件あり、そのうち新課題1件、課題の改定1件が採択された。しかし、WP1Aの入力による「パワーグリッド管理システムのサポートのために利用される無線・有線データ転送技術から無線通信システムが受ける影響に関するITU-Rの新課題草案[PWRGRD]/1(1/104)」については、米国と意見が割れたシリアがリザベーションをかけたため、新課題としては採択されなかった。
- ・ 上述の新勧告案のうちの1つは既存の勧告3つを統合したものであるため、この新勧告案が採択され次第、3つの当該勧告が削除されることがあわせて採択された。
- ・ 課題設定以降1件も寄書がないとの理由から1つの課題の削除が採択された。

1 SG1副議長の推薦指名

入力文書 Doc.1/115

SG1の副議長の一人であるWP1A 議長Mr.Zhou(中国)の退任に伴い、同国からMr.Changの

推薦があり採択された。

2 勧告案

WP1Aから提出された1件の新勧告案と2件の改定勧告案、またWP1Cから提出された1件の新勧告案と2件の改定勧告案の合計6件が採択された。ただし、WP1Cからの入力文書は直前にWPレベルの会合が開催されていたことから、SG1にて審議する文書としての提出期限を過ぎていたため、PSAA(脚注2参照)が適用されることになった。

なお、WP1BからはSG1での採択を求める新あるいは改定勧告案の提出はなかった。その他、イタリアからの入力文書が議長ノートされたほか、Editorialな修正についてはWP1Aから1件、WP1Cから1件の合計2件が採択された。

2.1 SG1による採択が審議された勧告案

入力文書 Doc.1/95(Rev1), 1/101(Rev. 1), 1/102, 1/110

1/95(Rev.1)、1/101(Rev.1)は議論なく採択された。30MHz帯以下の無線通信システムに対する高速電力線通信システムの影響に関する新勧告案(1/102)では、シリアの主張により、Recommendsの項における微調整(「*that administrations should take all possible necessary precautions to implement limits, measures and procedures to ensure that radiocommunication services be protected from interference caused by power line telecommunication systems*」と下線部(should、possible)の二語を追記。また、「*that the information contained in this Recommendation should may be taken into account as guidance by administrations when considering their own national rules and regulations regarding the use of PLT below 30 MHz*」とshould→mayとする変更。)が提案され、採択された。PLTに関する新勧告案(1/102)の採択を支持するイタリアからのコメント(1/110)は議長ノートされた。

注) 1/102について審議中は上記の改定を経て、全体採択がとられたが、本会合の終了直後に米国から発言があり、同勧告は非常に満足する内容にまとまっているが、その一方で、今回のSG1審議にて採択されたシリアからの提案には合意できないとの意見が提示され、議長報告に米国の意見を記載する方向で調整することとなり、会合終了後、日本及びドイツも同提案に加わることとなった。米国が問題視したのは、上述の「考慮してもよい(may)」と緩和した表現が適用されたところを、「考慮すべき(should)」というに原文に戻すべき、というのが論点であった。

文書番号	提出元	勧告名	表題	種別
1/95(Rev.1)	WP1A	SM.329-10	Unwanted emissions in the spurious domain	改定
1/101(Rev.1)	WP1A	SM.1541-2	Unwanted emissions in the out-of-band domain (ANNEX5)	改定
1/102	WP1A	SM.[PLT]	Power line high data rate telecommunication systems	新勧告
1/110 ¹	イタリア	SM.[PLT]	Comments on the DNR (Doc. 1/102) and related spectrum issues	

¹ イタリアからのコメントであり、議長ノートのみにとどまった

2.2 PSAA²による承認が検討された勧告案

入力文書 Doc. 1/127, 1/129, 1/132

1/127は「発展途上国の電波監視システムに不可欠な要件」を無線通信業務と監視機器の技術革新を考慮に入れて改定するものであるが、シリアからの提案で監視ハンドブックが改定されたことを受けて、最新版を参照するよう表記に注意しながら、その旨を追記することになった。また、一部英語表記で不適切な箇所があったため、WP1C議長がシリア、イタリアと協議の上、改定、その後、採択された。

1/129の「監視局でのFM放送放射波の最大周波数偏移測定法」の改定案については、Recommendsの項にある「ANNEX2に記されたメソッドを使う(is used)」を「使うべき(should be used)」に変更するというシリアによる提案が採用された後、採択された。

1/132の「スペクトラム占有の測定」に関する新勧告案は3つの既存の勧告を1つの新勧告に統合する案であるが、シリアから3.3.節にある統計用語「bins」についての内容確認の発言があり、脚注に説明が挿入されることになった。それ以外は特段、大きな議論はなく採択された。

文書番号	提出元	勧告名	表題	種別
1/127	WP1C	SM.1392-1	Essential requirements for a spectrum monitoring system for developing countries	改定
1/129	WP1C	SM.1268-1	Method of measuring the maximum frequency deviation of FM broadcast emissions at monitoring stations	改定
1/132	WP1C	SM.[SPEC-OC C-MEASUREMENT]	SPECTRUM OCCUPANCY MEASUREMENTS (Proposal to merge Recommendations ITU-R SM.182, ITU-R SM.1536 and ITU-R SM.1793 into a new Recommendation)	新勧告

2.3 ITU-R決議1-5の § 11.5に基づく勧告のEditorialな修正

入力文書 Doc.1/94, 1/124

SM.1009-1のAnnex2のAppendix 3の式についてのEditorialな修正を求めるDoc.1/94は議論な

² SG1 開催の 4 週間前までに入力された寄書は SG1 による審議により採択できることになっているが、これ以降に入力された寄書は通常、コレスポンスでの採択を求め、その後主管庁のサーキュレーションを行って承認する。本会合でもこの手順を想定していたが、シリアより他の SG で用いられている PSAA(Procedure for the simultaneous adoption and approval by correspondence)を用いるべきとの意見により、以下の入力文書については PSAA を採用することになった。PSAA を採用することで、採択と承認のプロセスが 2 段階ではなく、同時に進められるため、意思決定が迅速化される。

く採択された。また、WP1Cの提出による1/124は11の勧告内のEditorialな修正を求める文書であるが、監視ハンドブックの最新版が2011年版になるのか、2010年版になるのかなどの微細な確認がなされたほか特段の議論なく採択された。

文書番号	提出元	勧告名	表題	種別
1/94	WP1A	SM.1009-1	Compatibility between the sound-broadcasting service in the band of about 87-108 MHz and the aeronautical services in the band 108-137 MHz	改定
1/124	WP1C	SM. 443-1など ³	Bandwidth measurement at monitoring stations	改定

3 研究報告

3.1 WP1Aからの新研究報告案

入力文書 Doc.1/96, 1/105(+Corr.1), 1/109

ITU-R報告書SM.2158「80Mhz帯以下のLF、MF、HF、VHF帯で運用される無線通信システムに対する電力線通信システムの影響」のセクションA 1.2.2項において空間波の積算に関する改定を求める1/96は、議論なく採択された。

これと同じ報告書に対する改定案である1/105(+Corr.1)についてはシリアの提案によりNATOの言及が削除され、ドイツの提案で「政府」という一般的表記に変更された。また、シリアの提案でスマートグリッドに関する脚注を削除し、「スマートグリッドについてはITU-Tのフォーカスグループが作業を進めているところであり、スマートグリッドの定義そのものを定めることも本フォーカスグループの任務のひとつとされている。詳細情報は(フォーカスグループのウェブサイト明記)参照のこと」で置き換えることとされた。これらの改定がなされた上で本文書は採択された。

1/109の5.150の項にて、「これらの帯域を使う業務はこれらのアプリケーションが原因となる有害な干渉について許容せねばいけない」という一文があることに対し、シリアが削除を提案したが、WP1A副議長より、この記述はRRからの引用であることが確認され、現行のまま採択された。しかし、これに不満を持つシリアは「Syria still believes that definition of ISM equipment might need modifications taking into considerations that many equipment using this ISM band are not binded by ISM definition」という記載をSG1会合の議長報告に記載するよう求めた。なお、CISPR発行文書17の発行日時が誤っているため、フランスによる指摘で「2004年6月」から「2010年5月」に訂正された。

文書番号	提出元	研究報告名	表題	種別
1/96	WP1A	SM.2158	Impact of power line telecommunications	改定

³ このほか、以下の勧告(SM.1051-2, SM.1139, SM.1270, SM.1393, SM.1394, SM.1836, SM.1837, SM.1838, SM.1839, SM.1840)における修正があわせて採択された。勧告の数にして合計 11 件。

			systems on Radiocommunication systems operating in the LF, MF, HF and VHF bands below 80 MHz	
1/105 (+Corr.1)	WP1A	SM.2158	Impact of power line telecommunication systems on Radiocommunication systems operating in the LF, MF, HF and VHF bands below 80 MHz	改定
1/109	WP1A	SM.[ISM]	Impact of ISM equipment on radiocommunication services	新報告

3.2 WP1Bからの新研究報告案

入力文書 Doc.1/106, 1/107, 1/108, 1/121

SM. 2153の改定を求める1/106と1/121について、シリアから修正そのものには意義はないが、本文書を議題1.22の一部として採択することは反対であるとの意見が出された。また、ウクライナからの寄書である1/121は一部、単位の表記に誤りがあるようなので、WP1B議長がウクライナに確認し、情報を更新することとなった。これらの議論を経て、本文書は二点とも採択された。

国内の周波数管理の規定に関するガイドラインについての1/107、周波数管理の経済的側面に関する1/108は特段の議論なく採択された。

文書番号	提出元	研究報告名	表題	種別
1/106	WP1B	SM.2153	Technical and operating parameters and spectrum use for short-range radiocommunication devices	改定
1/107	WP1B	SM.2093	Guidance on the regulatory framework for national spectrum management	改定
1/108	WP1B	SM.2012-2 ⁴	Economic aspects of spectrum management	改定
1/121	ウクライナ	SM.2153	Technical and operating parameters and spectrum use for short-range radiocommunication devices	改定

3.3 WP1Cからの新研究報告案

入力文書 Doc.1/128, 1/130, 1/131

静止・非静止衛星からの放射を計測できる施設に関する新報告書を提案する1/128については日本の最新状況について追記がなされた点などが紹介された。シリアから、本報告書に記載している8箇所以外にも、当該施設を保有する国があるため、今後、さらに情報をアップデートするべきだとの意見があったが、これに対し、WP1C議長は寄書提出の奨励は既にしており、これに対応するかどうかは各主管庁の意志に委ねられている点が指摘された。また、イスラエルから、ITU-R 決議23をアップデートする必要もあるのではないかと、この意見があったが、WP1C議長より、その事項については来年の活動目標(Objective)の中に既に盛り込まれているため、来年のSG1の会合前に

⁴ 本文書は今回の改定後、SM.2012-3と題されることになる。

WP1Cとして追加協議する機会があることが付言された。これらの議論を経て、本文書は変更なく採択された。

宇宙局に対してRR第15条付録第10号を適用することには一部、困難が伴うとの理解からこの適用法について事例を紹介した1/130は特段の議論なく採択された。

SRDの計測手法をとりまとめた1/131はロシアから「EUとCEPTにおける標準」という記載は不適切であり、CEPTのみにするべきとの指摘があり、イスラエルもこれに賛同した。しかし、WP1C議長により、SRDに関するEUの標準に関連しているため、一概にはEUを削除できない、との意見があった。その後、休憩中のオフライン議論で基本的にはCEPTの言及だけに留め、一部必要に応じて、「EC/EEA諸国において」という記載も併記することで、見出しを簡素化すると同時に、内容も整合性をとる形でまとめられることになった。本文書は上記の変更を経て採択された。

文書番号	提出元	研究報告名	表題	種別
1/128	WP1C	SM.[SPACE_RADIO_MONITORING_FACILITIES]	Measurement facilities available for the measurement of emissions from both GSO and non-GSO space stations	新報告
1/130	WP1C	SM.[APP10]	Use of Appendix 10 of the Radio Regulations to convey information related to emissions from both GSO and non-GSO space stations including geolocation information	新報告
1/131	WP1C	SM.[SRD-MEAS]	SRD measurements	新報告

4 新及び改訂された課題の検討

4.1 WP1Aから提出された新及び改訂された課題の検討

入力文書 Doc.1/93, 1/104

ITU-R課題 221-1/1(無線通信システムと電力供給又は電話線網を使用する高速データ通信システムとの間の両立性)を改定する1/93については、イスラエルから、ConsideringのDにUHFを追加することに異議はないが、470MHz以上も対象となることは好ましくない、との意見があった。しかし、これに対し、ラポータグループ議長よりITU-Tでは既に470MHz以上も考慮にいたれた研究を進めているため、特定の周波数上限を設けずに記載する方が適切との意見があった。シリアより、同項には「特に(Particularly)」という用語が入っているため現状で問題ないだろうとされ、結局、本文書は微細な表記の変更のみ加えられた上で採択された。

パワーグリッド管理システムのサポートのために利用される無線・有線データ転送技術から無線通信システムが受ける影響に関するITU-Rの新課題草案[PWRGRD]/1である1/104については、シリアからの要請で「本課題については、ITU-Tのスマートグリッドに関するフォーカスグループの結果が出るまで、シリアはポジションをリザーブする」という記載が本会合の議長報告に含められることになった。ただし、RAGでも結論が出ているように、課題を採択することなく研究自体を継続することについてはシリアも異議はないとし、研究活動の継続については支持された。

これに対し、米国は研究を継続するよう、改めて議長報告の中で明記することを求めた。議長に

より、シリア、米国双方の意見について、議長報告内で言及することとされたが、本会合では同課題について合意に至れなかったため、本新課題草案は採択には至らなかった。これを受けて、米国が「本課題草案については、ITU-Rのフォーカスグループが活動を終えた際に改めて再審議を開始すべき」という点を議長報告に含めるよう求め、シリアが合意したため、この内容で議論は終了した。つまり、本課題草案は採択されず、草案としてのステイタスのまま残されることになった。

文書番号	提出元	課題番号	表題	種別
1/93	WP1A	221-1/1	Compatibility between Radiocommunications systems and high data rate telecommunication systems using wired electrical power supply	改定
1/104	WP1A	[PWRGRD]/1	Impact on Radiocommunication systems from wireless and wired data transmission technologies used for the support of power grid management systems	新課題 (未採択)

なお、WP1Bからは新及び改訂された課題の検討は提出されなかった。

4.2 WP1Cから提出された新しい及び改訂された課題の検討

入力文書 Doc.1/125

新しい技術に基づく無線システムを監視する上でどのような新たな点を考慮すべきか、などを課題として提起する1/125については、シリアから監視ハンドブックの改訂が解決策になるかもしれないので、S3のカテゴリ付けについて疑問視されたが、WP1C議長より、WP1Cにて本件は議論され、S2は重要な研究、S3は義務付けられた研究という定義を踏まえた上で、S3となっている点について解説され、変更なしで採択された。

文書番号	提出元	課題番号	表題	種別
1/125	WP1C	[Spec-Monit Evol]/1	Spectrum Monitoring Evolution	新課題

5 勧告、研究報告、研究課題の削除

入力文書 Doc.1/123

本報告書 2.2「PSAA による承認が検討された勧告案」で記載した1/132が今後、PSAAを経て採択・承認された場合には、その新勧告の中に現行のSM.182, SM.1536, SM.1793の勧告の内容が統合されることになるため、これらを削除することが1/123により提案され、採択された⁵。また、課題ITU-R 219/1はWP1Cの活動リストに長年入っているが、寄書が1件もなく今後も寄書が見込めないことから、本課題の削除が提案され、特段の議論なく採択された。

文書番号	提出元	削除対象		表題
		種別	番号	
1/123	WP1C	勧告	SM.182	Automatic monitoring of occupancy of the

⁵ ただし、実際の削除は 1/132 が最終承認されてから実施される。

			radio-frequency spectrum
	勧告	SM.1536	Frequency channel occupancy measurements
	勧告	SM. 1793	Measuring frequency channel occupancy using the technique used for frequency band measurement
	課題	219/1	Remote access to radio monitoring equipment of other administrations

6 他グループとの関係

会合の終了時間が迫っていたため、多くの文書については概要が簡単に紹介された後、議長ノートとなった

6.1 ITU-R

入力文書 なし

6.2 ITU-T

入力文書 Doc.1/86, 1/89, 1/90, 1/92, 1/97, 1/99, 1/100, 1/111, 1/116, 1/118, 1/119

ほぼすべての文書が簡単に紹介され、特段の議論なく議長ノートとなった。EMCガイドラインに関する1/99については、シリアから本件についてはTSAG、RAG、ITU-Tが議論を進めていることから、ITU-Rのカウンセラにも関与してもらうことが重要であるとの意見があった。ドイツもこれに賛同し、ITU-R SG1とITU-T SG15の具体的な連携が2011年1月及び5月に予定されていることが紹介された。

また、イタリアは、1/111の紹介にあたり「ホームネットワーク送受信機に基づく高速有線統合規格」に関する勧告 ITU-T G.9960をITU-RとITU-Tが共同で持続的に改訂してきた実績を賞賛し、今後、このような作業を行う際には、ITU-Tの専門家が参加できる形でITU-R内にラポーター・グループを設立すべきだと主張した。また、SG1で30Mhz以下を対象として勧告ができたことは大きな達成事項であり、WP6Aを含む関連組織にこの勧告策定についてリエゾン文書を送ることがよいのではないかと提案された。SG1議長より、勧告が正式に採択されてから考えるべきと提案され、議長報告にノートされることになった。

6.3 ITU-D

入力文書 Doc.1/126, 1/133

電磁波による人体への曝露に関するITU-Dからのリエゾン文書である1/126に関連して、WP1CとITU-TのSG5とが連携していることがWP1C議長から報告された。シリアからの提案で、ITU-Dに対しリエゾンバックし、その中で同テーマはWP1Cが所掌しておりコンタクトパーソンはWP1Cである旨などを連絡することで合意された。

また、周波数管理に関する開発途上国の参画（ITU-D SG2 が所掌する決議9）に関する1/133については、ITU-Dにおける周波数管理に関する活動は、ITU-Rにとっても重要なテーマであ

り、SG1からITU-D SG2が提案するジョイントグループへ人員を送り込むべきであるとSG1議長が提案した。そこで、SG1議長自身を含め4名の候補者の名前を本文書に対するリエゾンバックの中で記載することになった。一方、コートジボアールからは、SG1から4人も的人员が参加すると逆にジョイントグループの活動の効率性が損なわれるのではないかと、2人くらいが適当ではないかと、との意見もあったが、シリア、SG1議長の提案から、まずは4名をジョイントグループへの参加者に指名して今後の様子を見ることで合意された。

6.4 CISPR

入力文書 なし

7 その他の入力文書の審議

入力文書 1/122

1/122はシリアからの寄書で主な提案事項は、1)WP1AとWP1Bが議題1.6と1.22について合同で議論する機会を2011年5月のWP会合で設けるべきである、2)議題1.2のPDNRepについて、今後、CPMテキストに影響を及ぼすような新規情報を追加しないこと、の二点である。

1)については、米国より、議題1.6はWP1Bの所掌ではないため本提案の意図が不明であるとされたほか、SG1議長からは、議題1.22についてWP1AとWP1Bが合同で協議する必要性は既に認識されており、いずれにしても実施されることになるのではないかと、との指摘があった。さらに、ドイツからは今すぐにWP1AとWP1Bの合同協議を実施するかどうかを決めるのは時期尚早であり、WP1A、WP1B会合が開催される際に、議長が集まるステアリング・コミッティーで審議すべきと提案された。

一方、2)については、SG1議長より、次回のWP1B会合はCPM-2会合が完了した数ヵ月後になるため、この点を懸念する心配には及ばないこと、また、同議長及びカナダよりWPの審議で何を報告書に追記するかどうかはSG1が指示する範疇ではないため、WPに任せるべきとの意見が出された。また、スウェーデンからは、議題1.2に関するPDNRepの活動は今後も継続されるべきもので、WRCに役立つと思われる情報を収集する目的で研究を継続することは重要であると指摘された。

このように、本文書に記載されている2点の提案事項については、概ね反対意見が多く出されたこともあり特に新たなアクションはとられることなく、議長ノートされるに留まった。

8 今後の予定

2011年のSG1のWPLレベル会合は5月25日から6月1日までの予定で、その後、6月2日と3日にSG1会合を開催予定。2012年も同様にWPLレベル会合は6月初旬から、その直後にSG1を開催する予定。イスラエルから、SG1会合については効率よくやれば今回のように1日でおさまるので、今から2日確保する必要はないのでは、とコメントがあり、議長ノートされた。

入力文書一覧

番号	提出元	題名（英語）	題名（日本語）
86	WP 6A	Liaison statement from Working Party 6A to ITU-T Study Group 15 (copy to ITU-R Study Groups 1 and 6 for information)	WP6Aから ITU-T SG15 へのリエゾン文書
87	BR Study Group Department	ITU-R Study Group 3 Question to be brought to the attention of ITU-R Study Group 1	ITU-R SG1 で議論されるべき ITU-R SG3 からの質問
88	BR Study Group Department	ITU-R Study Group 5 Recommendation to be brought to the attention of Study Group 1	SG1 で議論されるべき ITU-R SG5 勧告
89	SG 5	Liaison statement from ITU-R Study group 5 to ITU-T Study Group 5 (copy to ITU-R Study Group 1 for information) - Proposals for new K-series Recommendations	ITU-R SG5 から ITU-T SG5 へのリエゾン文書
90	SG 5	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 (copied to ITU-R Study Group 1 for information) - ITU-T Recommendation G.9960	ITU-T SG15 へのリエゾン文書
91	BR Study Group Department	ITU-R Study Group 5 Recommendation to be brought to the attention of Study Group 1	SG1 で議論されるべき ITU-R SG5 勧告
92	Director, BR	Invitation to contribute to CWG-WCIT12	CWG-WCIT12 への寄与書募集について
93	WP 1A	Draft revision of Question ITU-R 221-1/1 - Compatibility between Radiocommunications systems and high data rate telecommunication systems using wired electrical power supply	ITU-R 221-1/1 の質問の改定案
94	WP 1A	Draft editorial modification of Recommendation ITU-R SM.1009-1	ITU-R 勧告 SM.1009-1 の編集修正案
95	WP 1A	Draft modification of Recommendation ITU-R SM.329-10 - Unwanted emissions in the spurious domain	ITU-T 勧告 SM329-10 の修正案
96	WP 1A	Draft modification of Report ITU-R SM.2158 - Draft modification of section A.1.2.2 of Report ITU-R SM.2158, on impact of power line telecommunications systems on Radiocommunication systems operating in the LF, MF, HF and VHF bands below 80 MHz	ITU-T SM.2158 報告書の修正案
97	TSAG Chairman	Liaison statement to involve the ITU-R Sector in the JCA-NID to address coordination of NID/USN/RFID standardization	NID/USN/RFID の標準化の調整における対応のために ITU-R セクターを JCA-NID の活動に連携を求めるリエゾン文書
98	Chairman, CCV	Liaison statement to Study Group 1 and Working Party 1B - Issues on terminology raised at the CCV/1-10 meeting of the Coordination Committee for Vocabulary (CCV)	SG1 及び WP1B へのリエゾン文書
99	ITU-T SG 15	Liaison statement - EMC guidelines for G.9960	G.9960 のための EMC ガイドラインに関するリエゾン文書
100	ITU-T SG 15	Liaison statement - New versions of the access network transport (ANT) standardization overview and work plan	ANT 標準の概要及び作業計画の新版に関するリエゾン文書

101	WP 1A	Draft revision of Annex 5 to Recommendation ITU-R SM.1541-2 - Unwanted emissions in the out-of-band domain	ITU-R 勧告 SM 1541-2 第 5 付属書の改定案
102	WP 1A	Draft new Recommendation ITU-R SM.[PLT] - Power line high data rate telecommunication systems	ITU-R SM(PLT) 新勧告案
103	Chairman, SG 1	Report of the Joint meeting of Working Parties 1A and 1B (Geneva, 21 June 2010)	WP1A と 1B の合同会議報告書
104	WP 1A	Draft new Question ITU-R [PWRGRD]/1 on impact on Radiocommunication systems from wireless and wired data transmission technologies used for the support of power grid management systems	ITU-R(PWRGRD)の新質問案
105	WP 1A	Draft modification of Report ITU-R SM.2158 - Impact of power line telecommunication systems on radiocommunication systems operating in the LF, MF, HF and VHF bands below 80 MHz	ITU-R SM.2158 報告書の修正案 (無線通信システムにおける PLT のインパクト)
106	WP 1B	Draft modification of Report ITU-R SM.2153 - Technical and operating parameters and spectrum use for short-range radiocommunication devices	ITU-R SM.2153 報告書の修正案 (SRD の技術及び運用パラメータと周波数利用について)
107	WP 1B	Draft modification of Report ITU-R SM.2093 - Guidance on the regulatory framework for national spectrum management	ITU-R SM.2093 報告書の修正案
108	WP 1B	Draft revision of Report ITU-R SM.2012-2 - Economic aspects of spectrum management	ITU-R SM.2012-2 報告書の改定案
109	WP 1A	Draft new Report ITU-R SM.[ISM] - Impact of ISM equipment on radiocommunication services	新 ITU-R SM (ISM)報告書案
110	Italy	Comments on the DNR "The impact of power line high data rate telecommunication systems on radiocommunication systems below 30 MHz" (Doc. 1/102) and related spectrum issues	DNR (「PLT が 30MHz 以下の無線通信システムに与えるインパクト」)に関するコメント
111	Italy	Cooperation with ITU-T on revision of Recommendation ITU-T G.9960	ITU-T 勧告 G.990 の改定に関する協力
112	Chairman WP 1B	Executive Report of the Meeting of Working Party 1B (Geneva, 1-10 February and 21-28 June 2010)	WP1B 会合のエグゼクティブ報告書
113	Chairman WP 1A	Executive Report of the Meetings of Working Party 1A (Geneva 1-10 February and 21-28 June 2010)	WP1A 会合のエグゼクティブ報告書
114	WP 1A Rapporteur Group on PLT	Power Line High Data Rate Telecommunication Systems (PLT) (Question ITU-R 221-1/1)	PLT について (ITU-R 221-1/1 質問)
115	Chairman, ITU-R Study Group 1	Proposal for Mr. Chang Ruoting To Serve as Vice-Chairman of SG1	Chang Ruoting 氏の SG1 副議長就任に関する提案
116	Korea	Information About Progress Status on Vehicle Gateway Platform (VGP) in ITU-T SG16	ITU-T SG16 における VGP の進捗状況に関する情報
117	Korea	Rapporteur's Report on Review on ITU-R Recommendations, Reports and Questions Assigned to the SG1	ITU-R 勧告に関するラポーターグループ報告書

118	NABA	Future Studies on Recommendation ITU-T G.9960	ITU-T 勧告 G.9960 に関する将来の研究
119	World Broadcasting Unions	Future Studies on Recommendation ITU-T G.9960	ITU-T 勧告 G.9960 に関する将来の研究
120	CBS, Inc.	Support for the Rapporteur Group on High Data-Rate Power Line Telecommunications	PLT に関するラポーターグループの支援
121	Ukraine	Corrigendum to the Table 8 in Appendix 8 to Annex 2 to Draft Modification of Report ITU-T SM.2153 (Technical and operating parameters and spectrum use for short-range radiocommunication devices)	ITU-T SM. 2153 修正報告書の案第 2 付属書の第 8 付属書テーブル 8 における誤植
122	Syrian Arab Republic	Proposal by Syria	シリアによる提案
123	Chairman, Working Party 1C	Executive Report to SG1	SG1 へのエグゼクティブ報告書
123 Ann. 1	Chairman, Working Party 1C	Status of ITU-R Recommendations and Reports Developed by WP1C	ITU-R 勧告及び WP1C 作成による報告書の状況
124	Working Party 1C	Draft Editorial Modification of Recommendations ITU-R SM 443-1, SM.1051-2, SM.1139, SM.1270, SM.1393, SM.1394, SM.1836, SM.1837, SM.1838, SM.1839 AND SM.1840	ITU-R 勧告 (SM 443-1, SM.1051-2, SM.1139, SM.1270, SM.1393, SM.1394, SM.1836, SM.1837, SM.1838, SM.1839 AND SM.1840) の編集修正案
125	Working Party 1C	Draft New Question ITU-R (Spec-Monit Evol)/1	ITU-R の新質問案
126	ITU-D Study Group 1	Liaison Statement to ITU-R Study Group 1, Strategies and policies concerning human exposure to electromagnetic fields	ITU-R SG1 へのリエゾン文書
127	Working Party 1C	Draft Revision of Recommendation ITU-R SM.1392-1, Essential requirements for a spectrum monitoring system for developing countries	ITU-R 勧告 SM. 1392-1 の改定案
128	Working Party 1C	Draft New Report ITU-R SM.[SPACE_RADIO_MONITORING_FACILITIES], Measurement facilities available for the measurement of emissions from both GSO and non-GSO space stations	ITU-R SM の新報告書案(周波数監視施設)
129	Working Party 1C	Draft Revision of Recommendation ITU-R SM.1268-1, Method of measuring the maximum frequency deviation of FM broadcast emissions at monitoring stations	ITU-R 勧告 SM.1268-1 の改定案
130	Working Party 1C	Draft New Report ITU-R SM.[APP10], Use of Appendix 10 of the Radio Regulations to convey information related to emissions from both GSO and non-GSO space stations including geolocation information	ITU-R SM の新報告書案(第 10 付属書)
131	Working Party 1C	Draft New Report ITU-R SM.[SRD-MEAS] SRD measurements	ITU-R SM の新報告書案(SRD 測定)

132	Working Party 1C	Draft New Recommendation ITU-R SM.[SPEC-OCC-MEASUREMENT] SPECTRUM OCCUPANCY MEASUREMENTS, Proposal to merge Recommendations ITU-R SM.182, ITU-R SM.1536 and ITU-R SM.1793 into a new Recommendation	ITU-R SM の新勧告案
133	ITU-D Study Group 2	Liaison Statement to ITU-R Study Group 1, Resolution 9, "Participation of countries, particularly developing countries, in spectrum management"	ITU-R SG1 へのリエゾン文書(第9決議)